様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 協栄学園 服部 尚

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	理学療法	夜 ・ 通信	154 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 協栄学園 服部 尚

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	歯科技工士	2021.5-2025.5	運営体制へのチェック機能
非常勤	医師	2022.3-2026.3	専門家としての助言
(備考)			

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 協栄学園 服部 尚

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>理学療法士養成所指定規則に規定される教育内容を遵守し、理学療法士教育ガイドラインに準ずる教育目標、学生到達目標を検討し決定している。また、教育提携校である人間総合科学大学(通信課程)との単位互換科目については大学設置基準に準ずる。</p> <p>1年次に基礎科目、2年次より専門基礎科目、3-4年次には理学療法治療学と臨床実習を修得する編成。</p> <p>シラバスの作成過程：理学療法教育モデル・コアカリキュラムに準じた内容で各担当講師に作成を依頼している。 シラバスの作成・公開時期：3月末までに作成し、4月のオリエンテーション時に学生へ配布している。また、各教室に1部保管し閲覧できるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目ごとの修了試験(60点以上を合格)にて5段階の成績評価。成績評価の方法および基準はシラバスに記載。</p> <p>出席要件(60%出席)を満たさない場合は、単位認定試験の受験を認めない。試験不合格者には、再試験の受験機会を与える。 成績不良者は、半期(前後期)ごとに単位履修状況を面談にて指導。 学年ごとの総合試験を実施し、学習到達度を評価している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>講義においては、筆記試験得点、実習および演習は評価用紙を用いた実習指導者の評価を行う。当該年度の成績表は、各年度末に学生もしくは父母に郵送している。</p> <p>科目ごとに成績評価の基準を定め、学則およびシラバスに記載。 得点ごとにS(90点以上)・A(80点~89点)・B(70点~79点)・C(60点~69点)・Dの5段階評価とし、D(60点未満)評定は不合格。</p> <p>GPAは、S-4、A-3、B-2、C-1として単位数を乗じる。理学療法専門分野は、GPAポイントに1.5を乗じた値として算出する。 2021年度の各学年GPA一覧を別表で示している。(添付資料：(3)客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料)</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>すべての単位(168単位)を修得し、卒業試験合格をもって卒業を認める。 卒業試験は5回の内3回の合格を基準とする。試験範囲および出題形式は理学療法士国家試験に準ずる。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学則および当該学年対象者に試験実施に関する詳細資料を配布。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 協栄学園 服部 尚

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校窓口にて、閲覧希望する旨お申し出頂ければ随時可能
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療専門		医療専門	理学療法		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	168単位	1455時間 (97単位)	615時間 (41単位)	1350時間 (90単位)		
3420時間							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		88人	0人	7人	45人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 1年次に基礎分野を、2年次に専門基礎分野を修得し、3-4年次に理学療法治療学を中心とした専門分野および臨床実習を修得する。講義内容および到達目標は、シラバスに記載。実技・演習等は複数の講師が指導にあたる。

成績評価の基準・方法
（概要） 科目ごとの修了試験（60点以上を合格）にて5段階の成績評価。成績評価の方法および基準はシラバスに記載。出席要件（60%出席）を満たさない場合は、単位認定試験の受験を認めない。試験不合格者には、再試験の受験機会を与える。成績不良者は半期（前後期）ごとに単位履修状況を面談にて指導している。

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業要件は、学則別表（教育課程表）に定める科目および実習単位を取得した者が、複数回実施する卒業試験に合格すること。進級要件は当該年度内に履修科目ごとに単位を取得すること。医療・福祉分野において理学療法士の役割とともに、自己研鑽を怠らず、社会に貢献すべく意識を有した人材に成長していることを在学中の到達目標とする。

学修支援等
（概要） 前後期試験終了後あるいは臨床実習前後に学年担任、副担任らが個人面談を行っている。成績不良者に対しては、適時補講を行っている。学外かつ長期間の臨床実習では、担当者が施設訪問を行い、実習指導者からの情報提供ならびに実習進捗状況等を踏まえた面談を行っている。メンタルヘルスに関する専門的な支援は、非常勤講師の医師・臨床心理士らのカウンセリングで対応。経済的な支援は、奨学金担当者が相談対応し、家計急変等の場合は学納金分納等の対応を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	10人 (90%)	2人 (20%)
（主な就職、業界等） 主な就職：病院、老人保健施設、整形外科クリニックなど 業界等：医療分野、介護保健分野			
（就職指導内容） 最終学年当初のオリエンテーションにて説明。その後は就職担当者、教員等が個人面談等を実施。理学療法士（現任者）を講師に招き、就職活動の経験談もしくは病院が求める理学療法士等についてのセミナーを開催。いずれにおいても免許取得が採用条件であるため、国家試験受験後に就職活動を開始する事例が多くなる。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格、高度専門士（医療専門課程）、大学院入学資格、住環境コーディネーター検定、初級障がい者スポーツ指導員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	11人	12.9%
（中途退学の主な理由） 留年者の進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生ならびに父母を交えた面談、欠席が連続する場合に父兄への連絡と状況確認。学業の課題には、方法などを指導している。経済的理由の場合には本学関係機関の奨学金制度の紹介などの情報提供を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法	190,000 円	840,000 円	500,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学内で行った自己評価結果に基づき「学校運営、教育活動、学生支援などの評価項目について意見、提案、改善策等を評価委員に求める。検証結果を踏まえ、校長を中心に学校運営の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
介護施設	2020.4.1-2024.3.31	卒業生 (理学療法士)
元株式会社従業員	2020.4.1-2024.3.31	卒業生
株式会社従業員	2020.4.1-2024.3.31	学識経験者 (言語聴覚士)
元株式会社従業員	2020.4.1-2024.3.31	学校評議員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校窓口にて閲覧を希望する旨お申し出頂ければ随時可能		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構 (http://jcore.or.jp) 直近では 2019 年 11 月に実施、リハビリテーション教育施設として、認定評価を受けた。(有効期間 2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kyoeigakuen.ac.jp
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人 協栄学園 服部 尚

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

	前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)	0 人	0 人	0 人
内 訳	第 I 区分	0 人	
	第 II 区分	0 人	
	第 III 区分	0 人	
家計急変による支援対象者 (年間)			0 人
合計 (年間)			0 人
(備考)			

※本表において、第 I 区分、第 II 区分、第 III 区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令 (令和元年政令第 49 号) 第 2 条第 1 項第 1 号、第 2 号、第 3 号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。